

# 城南五山とは：

城南五山(じょうなんござん)は、東京城南地区にある高台5カ所の総称である。山手線の内側、目黒駅から品川駅にかけての地域にあり、古くから高級住宅街として知られる。御殿山(ごてんやま)、ハッ山(やつやま)、島津山(しまづやま)、池田山(いけだやま)、花房山(はなぶさやま)で構成され、それぞれは大名屋敷や大名出身の邸宅があった。明治に入って、財閥や実業家の邸宅に引き継がれた。



御殿山花見、品川全図クリアファイル(A4) 品川歴史館にて発売 200円

## 御殿山

徳川家康が品川御殿を建立し、鷹狩りの休息所や茶会の場として利用していた。当時は桜の名所としても有名。

## ハッ山

名の由来に定説はないが、村の古名「谷山村」が転訛したものとするのが有力。

## 島津山

仙台藩伊達家の拝領地が、明治になってから旧薩摩藩主島津公爵の邸宅地になったことに由来する。

## 池田山

備前国岡山藩池田家の下屋敷地だった一帯で、箱根土地株式会社が分譲住宅地として宅地開発した丘。

## 花房山

明治末に花房義質子爵が屋敷を構え、江戸時代には播磨国三日月藩森家の上屋敷などがあった丘。

# 島津山 花房山 池田山 を巡る

# 大名が愛した城南五山



## 島津山

仙台藩伊達家の拝領地が、明治になってから旧薩摩藩主島津公爵の邸宅地となり、大正12年(1923年)には島津公爵家の本邸として機能していた。第二次世界大戦時に島津家は日本銀行に売却、その後清泉女子大学が買取り現在に至る。

## 池田山

寛文10年(1670年)以降江戸時代を通じて、備前国岡山藩池田家の下屋敷地だった一帯で、明治時代は池田侯爵邸として使用されていた。大正末期に次第に宅地化され、箱根土地株式会社が分譲住宅地として宅地開発した丘。

## 花房山

コロンビア共和国大使館周辺は花房山と呼ばれ、花房義質(はなぶさよしもと)子爵の屋敷があったことからその名がつけられた。花房義質は明治の外交官。岡山藩士花房端連の長男で枢密顧問官、日本赤十字社長などを歴任。明治32年頃に空き地となっていた播磨国三日月藩森家の一部を入手し暮らしていた。



■しながわ観光のお問い合わせは  
一般社団法人 **しながわ観光協会**  
☎03-5743-7642 <http://shinakan.jp/>  
〒140-0014 品川区大井1-14-1 大井1丁目共同ビル1F しなかんPLAZA  
2017年1月発行







旧島津公爵家袖ヶ崎本邸洋館 東京都指定有形文化財(建造物)

## ねむの木の庭 3

皇后陛下・美智子様のご実家・正田邸の跡地を整備し、平成16年(2004年)に開園した公園。個人の庭のような空間の園内には、皇后陛下ゆかりの樹木や多数の草花が植えられ、四季折々に楽しむことができる。園名は「ねむの木の子守唄」(美智子様が高校時代に作詞)にちなんでつけられた。

品川区東五反田5-19-5  
開園時間 9時~17時  
休園日 年末年始



プリンセスミチコ



## 池田山公園 4

品川区東五反田5-4-35

備前国岡山藩池田家の下屋敷跡で、高台のため池田山と呼ばれる。明治時代は池田侯爵邸として使用された。大正時代末期から次第に宅地化され、東京電力社長邸、荏原青果社長邸へと変遷後、品川区が買い上げ昭和60年(1985年)に池田山公園として開園した。江戸時代の回遊式庭園が良好に保存されている。

## 三日月藩上屋敷跡 5

花房山通りに立つ案内板付近から現在の目黒駅近くまでが、播磨国(現兵庫県)三日月藩森家上屋敷(品川区内で唯一の大名上屋敷)で、抱屋敷を含めて約1万坪の敷地であった。三日月藩は1万5千石の大名である。屋敷一帯は「森ヶ崎」と呼ばれて、森家の「森」と舌状台地の先端を示す「崎」から名付けられたとされる。この一帯は「しながわ百景」にも選ばれ春には情緒ある桜並木が見られる。

品川区上大崎3-12-18付近

## コロンビア共和国大使館 6

南アメリカ大陸の北西部に位置する立憲共和国制国家で、面積は日本の3倍。国名は新大陸を発見したコロンブスに由来。また、大使公邸にある池は花房邸の池の名残と言われている。

品川区上大崎3-10-53

## 聖アンセルモ教会 7

品川区上大崎4-6-22

名称 カトリック目黒教会 教会堂名 聖アンセルモ 聖堂は、レイモンド氏の戦後最初の設計。昭和31年(1956年)5月に献堂式を挙げた。50年以上過ぎた今も、建築史上注目されており、専門の学生達が時折見学に訪れている。

## 杉野学園衣裳博物館 8

品川区上大崎4-6-19

開館時間 10時~16時  
休館日 日・祝・大学の休業日

昭和32年(1957年)に日本で初めての衣裳博物館として開館。杉野学園創設者の杉野芳子が収集した古今東西の衣裳や服飾小物などを所蔵。また、日本の十二単衣や江戸時代の衣裳も見ることができる。初代理事長杉野繁一が設計したギリシャ様式の建物も見所のひとつ。



### 五反田駅

- 1 清泉女子大学
- 2 雉子神社
- 3 ねむの木の庭
- 4 池田山公園
- 5 三日月藩上屋敷跡
- 6 コロンビア共和国大使館
- 7 聖アンセルモ教会
- 8 杉野学園衣裳博物館

### 目黒駅

距離：約5km 時間：約90分

## その他の見どころ

### 【宝塔寺】 品川区東五反田1-2-29

応永8年(1401年)に創建されたと伝えられる。初めは品川の海岸近くにあり、目黒川沿いに移転して宝塔寺と名を変え、さらに江戸時代初期に、目黒川の水害を避けて現在地に移転した。

### 【袖ヶ崎神社】 品川区東五反田3-6-20

平安時代の保延3年(1137年)に、京都から稲荷大明神を勧請したと伝えられる。江戸時代にはこの付近に大名家や旗本の下屋敷が多く、袖ヶ崎神社は、これらの人々の信仰を受けていた。

### 【本立寺】 品川区東五反田3-6-17

安土桃山時代、慶長2年(1597年)の創建で、はじめ目黒にあったが、江戸時代の貞享4年(1687年)に、この地に移転してきた。摂津国能勢の領主、能勢氏の菩提寺で妙見菩薩が祀られている。

### 【誕生八幡神社・重箱稲荷】 品川区上大崎2-13-36

誕生八幡神社は、太田道灌が夫人の懐妊の際に安産を祈願したことから命名された。本殿前に向かい合う銀杏は、推定樹齢300年を超える長寿で品川区指定文化財となっている。

### 【喜多六平太記念能楽堂】 品川区上大崎4-6-9

能楽 喜多流の再興に尽くし、重要無形文化財保持者でもあった十四世 喜多六平太(1874~1971年)を記念し命名された。能楽堂は、明治25年喜多流能楽会結成後、大山巖邸舞台の払い下げを受け、明治26年飯田町に喜多舞台を建設したのがはじまり。関東大震災、東京大空襲と何度も舞台は消失し、昭和30年には現在地に喜多能楽堂を再建した。

## 清泉女子大学 1

品川区東五反田3-16-21

島津家が当初伊達家の木道家屋をそのまま使用していたが、老朽化により英国人建築家のジョサイア・コンドル氏(1852~1920年)に依頼し、大正6年(1917年)に落成披露が行われた。昭和初期に金融恐慌のあおりで島津家も財政的な打撃を受け3万坪もあった敷地は中央部約8千坪を残し、売却され、昭和19年(1944年)以降日本銀行の手に移り公文書保管庫として使用された。昭和37年(1962年)に清泉女子大学がこの地へ移転し、旧島津公爵邸は大学の校舎になった。

※公開日についてはホームページ  
www.seisen-u.ac.jp にてご確認ください

## 雉子神社 2

品川区東五反田1-2-33

創建は室町時代と言われている。江戸時代までは「大鳥大明神」と呼ばれ、三代将軍・徳川家光が鷹狩りに来た時、一羽の白雉が社地に飛び入ったのを見た事から「雉子ノ宮」と改称した。

